

# 慶應志木会会報

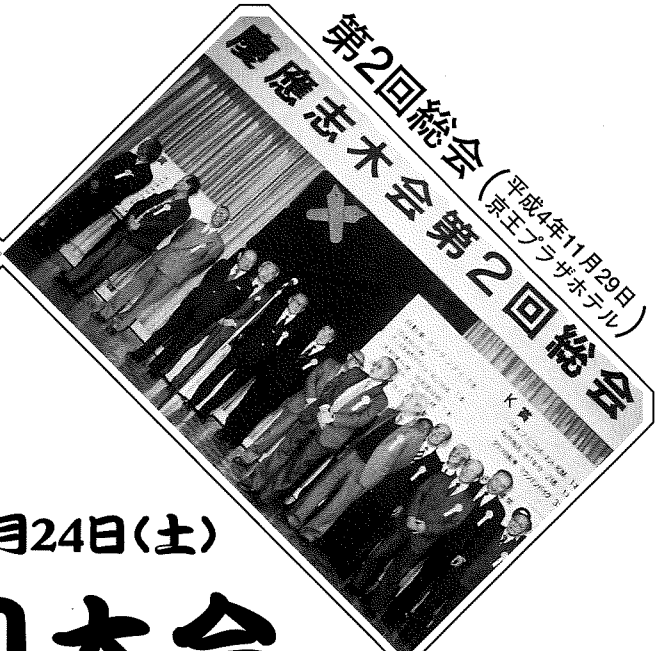
慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2006  vol. 26

創立総会  
(昭和63年11月27日)  
ホテルオークラ



第2回総会  
慶應志木会第2回総会  
(平成4年11月29日)  
京王プラザホテル



2007年11月24日(土)

## 第5回大会

ホテルオークラ  
平安の間

第4回総会  
(平成14年10月6日)  
京大聖カトリック

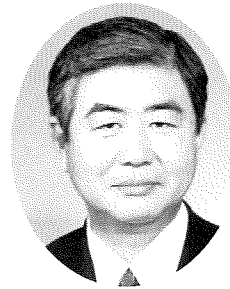


第3回総会  
慶應志木会  
第3回総会  
(平成9年11月30日)  
東京国際フォーラム



## ご挨拶

## 会長 鹿野 元章



志木会の皆様こんにちは。

5月の幹事総会におきまして第3代慶應志木会会長を仰せつかりました16期（昭和41年志木高卒）鹿野元章でございます。同時に同期の阪東宗文君、野溝孝信君がそれぞれ幹事長、副幹事長（志木会大会実行委員長）に就任致しました。皆不慣れでございますが、今後ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

ご高承の通り志木会は昭和63年に櫻井初代会長を始めとする皆様のご尽力により創立され、来年で20年を迎えることとなります。会員も13000名を数え、大きな組織となってまいりました。今後、設立目的である志木高等学校の発展を側面から応援し、会員相互の親睦を図る組織としてその重要性はますます増大すると存じます。

また、5年に一度の志木会大会が来年11月に迫っております。幹事の皆様をはじめ、実行委員会、役員会も大会の準備と開催にもっともエネルギーを費やしております。また、多田前会長よりの引継ぎに基づき、すでに準備委員会を発足しております。さらに、入学時記念品贈呈、奨学金制度創設、「志木会パス」などを検討しております。

つきましては、会員各位よりの物心両面のお力添えが無くては何もできない現状をご理解いただき、会費の納入、行事へのご参加、会運営へのご提案などできうる限りのご協力を改めてお願ひ申し上げます。

安西塾長も日吉高校出身であり、塾の中心は高校だと仰っていると伺いました。これは多感な時期を受験勉強に追われることなく塾生として過ごし、大学に進学してからも慶應義塾の良き伝統を伝えてきたという自負から発せられたお言葉ではないかと推察いたします。特に志木高は当初農業高校として出発したことはエコ時代を予測したような先見の明だったと存じます。わが母校への感謝と共に、この伝統を受け継いでいる志木高がさらに発展されますよう皆様と共に活動してまいりたいと存じます。

就任にあたりお願ひばかりで恐縮ですが、なにとぞ志木会の趣旨をご理解くださり、同期の皆様お誘いあわせの上今後一層のご参加を心からお待ち申し上げます。

敬 具

## 志木会役員新体制のご説明

5月18日開催の総会幹事会（今後は幹事総会と称する。会則改正報告（本会報14ページ）参照）において、役員の新体制が承認されました。

退任	名誉会長	井田 良君	（平成16年就任）	
	会長	多田 毅君	（平成9年就任）	→顧問就任
	幹事長	五老輝彦君	（平成16年就任）	→顧問就任
	副会長	原田 薫君	（平成14年就任）	→監事就任
	監事	宮田 勝君	（平成14年就任）	→顧問就任
新任	名誉会長	下村 裕君	（校長）	
	会長	鹿野元章君	（16期）	前任 監事
	幹事長	阪東宗文君	（16期）	幹事
	副会長	金子博志君	（20期）	事業（情報）副委員長
	副会長	山崎嘉正君	（26期）	総務副委員長・事務局兼務
	監事	千葉宗雄君	（13期）	幹事
	副幹事長	野溝孝信君	（16期）	幹事

多田前会長はじめ旧役員の方々には、志木会発展のためのご尽力に心より感謝申し上げます。

## 志木会会費徴収率の向上について

現在、会員の皆様のご協力にもかかわらず、志木会会費の徴収率が大変低く、会の運営が財政上厳しい状況にあります。この徴収率を高め、財政の健全化を図る事が、志木会の活性化のために重要な課題であります。

そこで5月18日開催の幹事総会において、会員相互の交流はもとより、学校の教育充実に寄与するために、如何なる方法を取ったら良いかについてご意見を頂戴いたしました。

幹事総会にて頂戴したご意見を抜粋させていただきます。

会費と寄付を併用する方法を取った場合は、

- ・志木会会員が更に会費を納めるよう努力すべきであり、会費の額は今までのとおり同額を維持すべきである。
- ・新入会員（卒業生）の徴収率が低い。
- ・会費と志木会への寄付、学校の教育充実に目的とした寄付とは、それぞれ別扱いにすべきである。
- ・寄付に関しては、減免を含めて検討すべきである。

賛助会費として金額を定めない場合は、

- ・賛助会費は任意であり賛助会費のみに頼る事は、金額や徴収率が更に減少する可能性も予想される。

自動引き落としの方法を取った場合は、

- ・自動引き落とし等に関しては、手数料、会の事務負担等十分調査すべきである。
- ・特別委員会を設置して検討すべきである。

この他にも沢山のご意見を頂戴しました。

なお、志木会としては広くご意見を頂戴いたしたく、特別委員会を設置しまして検討を進めてまいりたいと思います。また、皆様からのご意見を頂戴いたします。ご意見などございましたら、下記事務局宛にご連絡ください。

## 慶應志木会事務局

E-Mail : info@keio-shikikai.jp / Fax : 048-471-1974

〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1 慶應義塾志木高等学校内 慶應志木会

## 会費納入のお願い

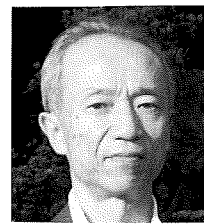
例年お願いしております通り、慶應志木会第4期（5年分1万円一年間2千円）の納入状況は、現在（本年9月末現在）で15%となっており、目標の30%には半分しか届いていない状況です。

本会報15ページでもご案内の通り、慶應志木会では、現在、会費を納入された方々へのサービスを多数計画中でございます。また、来年11月には第5回志木会大会をホテルオークラで開催する予定であり、その準備資金も必要となります。

まだ、お納めいただけていない会員の方々におかれましては、慶應志木会の運営が皆様方のご協力なくしては成り立たないことを再度ご理解いただき、慶應志木会会費納入のご協力を何卒よろしくお願ひ申し上げます。納入に際しては同封の振込用紙をご利用のうえ、お近くの郵便局よりご送金いただきますようお願い申し上げます。

なお、既に会費をお納めいただけている方々におかれましては、重ねてのお願いになりますことを心よりお詫び申し上げます。

## 第5回志木会大会に向けて



16期  
野溝 孝信

昨年9月久しぶりに出席した16期の同期会（志世会）後の2次会の席で、一昨年3月よりセミリタイア生活に入って少々暇を持て余していた事もあり志世会幹事を引き受けました。同期会幹事としての活動も何も無いまま、この度一気に志木会大会実行委員長と言う大役を任される事となり、責任の重大さに今更ながら戸惑っている次第です。

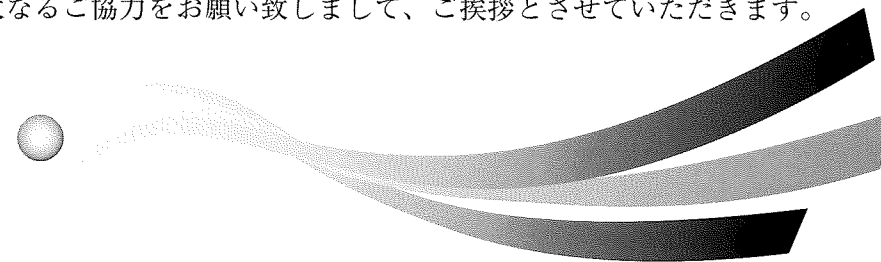
今後は、志木会の立ち上げから今日まで大変なご苦勞をなさった諸先輩又幹事の皆様の助けをお借りしながら、皮袋に注がれる新たな酒の一滴にでも成ればと思っております。

さて大会委員長としての最初の仕事として仰せつかったのが今回の大会のテーマであります。無い知恵を振り絞って決めさせて頂きました。

「点から線へ、線から面へ、紡ごう三色（みいろ）の旗」です。

クラス会・学年会・志木会、或いは在校生・教職員・同窓生による三位一体の協力で、化粧の布にプリントではなく、1本1本は節のある不揃いな糸でも紡ぎあがれば味わい深い絨織の三色旗を、丁寧に作り上げて行きたいと言う願いを込めました。

関係各位皆様の絶大なご協力をお願い致しまして、ご挨拶とさせていただきます。



## 大会日程

日時：2007年（平成19年）11月24日（土）  
会場：ホテルオークラ 平安の間  
受付開始：14:00  
開宴：14:30  
閉会：17:00

今回は、毎回出席率の低い傾向にある30期以降の方々に多数ご参加いただきたく、会費設定を優遇したいと考え検討中です。皆様に次回も是非参加しようと思って頂けるように、楽しいイベントを幹事一同で企画中です。

**皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい！**



## 「志木会の先輩方、 よろしくお願い致します」



慶應志木会が来年、創立20周年の大きな節目を迎えられるに当たり、関係者の皆様はさまざまな準備に奔走されご苦勞いかばかりかと拝察致します。志木高とともに同窓会もまた、活動の幅を広げながら着実にその歩みを進めておられることを、五高等学校同窓会の一員として心より尊敬し、お慶び申し上げます。

慶應義塾ニューヨーク学院高等部は、義塾の一貫教育校の一つとして1990年に米国ニューヨーク州にて開校されました。日米両国の教育・文化を取り入れた「バイリンガル」「バイカルチュラル」を掲げておりますが、実際には、米國にとどまらず世界各地の異なる環境で育った生徒が集い、個性を融合させ、独自の校風を作り上げております。

学院は今年9月からの新年度で開校以来17年目に入り、同窓会も昨年ようやく正式に発足したばかり。義塾の歴史に鑑みればごく新参のメンバーですが、五高同窓会をはじめ慶應義塾に新たな息吹を吹き込める有為の人材たるべく、研鑽して参りたいと存じます。

志木会の諸先輩方のますますのご発展をお祈り申し上げるとともに、今後とも御指導・御鞭撻のほど、宜しくお願い致します。



慶應義塾ニューヨーク学院同窓会  
会長 近藤明日香

## 広告

ピッコロホテル

## オペラ軽井沢

志木高35年卒（10期）  
樋泉 新一

03年春に新築オープンした  
軽井沢の森の中のプチホテル

～豊かな自然と音楽に包まれたお洒落な洋館  
貸切露天風呂でくつろぐ癒しの休日～

オペラのヒロインの名が付いた客室はそれぞれのイメージに合せたインテリアに…。  
夕食は、チーズフォンデュなどのコース料理を…。  
朝食には焼き立て手作りパンを味わって…。  
星空や森を眺めながらゆったりくつろげる展望露天風呂と岩風呂は共に貸切可。  
グランドピアノのあるダイニングルームは音楽の集まりに最適…。  
ゴルフやテニス、スキー、トレッキングなど。  
そして懐かしい志木高の同期会などぜひご利用下さい。

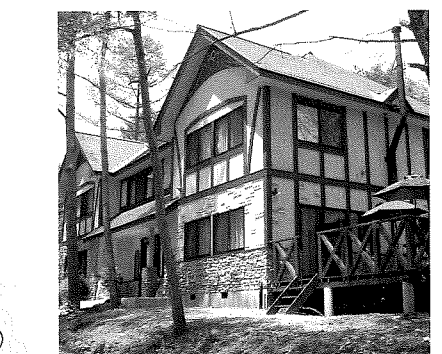


1泊2食付 平日 9,450円 休前日 11,550円  
1泊朝食付 6,300円～  
季節料金あり（7/15～8/31、X'mas、正月、GW）



TEL 0267-44-3133  
FAX 0267-44-3122  
http://www.p-opera.com/  
E-mail: opera@sas.janis.or.jp

〒389-0111  
長野県北佐久郡軽井沢町長倉大日向5664-3  
碓氷軽井沢IC20分  
新幹線軽井沢駅より車で15分  
しなの鉄道信濃追分駅より車で5分



駐車場7台  
洋室7室（バス・トイレ付／1室のみバス無・トイレ付）  
チェックイン15時 チェックアウト10時  
全室TV・ビデオ・ボット・冷蔵庫・ドライヤー・アメニティ完備 貸切可の岩風呂と展望露天風呂（冬期は利用不可）有 送迎 応相談（ハイシーズン不可）

## 體育會NOW 第6回

柔道部部长 山田季孝

植田教諭のあとを引き継ぎ、途中副部長の時期も含めれば私が柔道部に携わってかれこれ十数年という月日が経とうとしています。河野教諭という良き指導者のもと全盛期には部員数は1年生から3年生まで合わせて30名ほど、道場は活気で満ち溢れておりました。ちょうどその頃より大学の慶早対抗柔道戦の日にあわせて高校慶早対抗柔道戦も始まりました。日吉高校・湘南藤沢高校とともに連合チームを編成し、相手方である早大学院・早稲田高校・早稲田実業の連合チームと試合をするわけですが、年によって勝ったり負けたりで選手達にとっては良い思い出になっているはずですが、公式戦ではありませんが今でも部員達にとって重要な大会のひとつとなっています。

卒業生である諸先輩方から受け継いだ伝統ある志木高柔道部も部員数の激減により休部寸前という危機的時期もございました。しかし、安藤洋志現監督の熱心なご指導のもと2005年度の卒業生達と現部員達の奮闘によりここ数年また活気を取り戻しつつあります。現在では部員数も3年生4名、2年生4名、1年生6名と安定してきておりますので、ひとまずはご安心下さい。2005年春には畳も更新され、部員達はすばらしい環境のなかで日々稽古に精進しております。

1年間に公式戦も含め柔道部が参加する大会は、4月下旬の西部地区大会—5月初旬の関東大会県予選会—5月中旬の港区民春季柔道大会—6月中旬のインターハイ県予選会—9月下旬の西部地区新人大会—10月初旬の慶早対抗柔道戦—10月下旬の港区民秋季柔道大会—11月下旬の県新人大会—1月下旬の全国選手権大会県予選会—3月下旬の慶應杯争奪柔道大会となっております。

新入部員の大半が体格にも恵まれず、柔道経験無しの初心者（白帯）からの出発ですが、日々稽古に励み全員初段（黒帯）以上で卒業していきます。地区大会や県大会では埼玉県の強豪・古豪チームを相手に臆することなく戦いますし、慶早対抗柔道戦ではここ数年勝ち続け、誇らしい限りです。

現在、志木高柔道部OB会の設立に向け準備しておりますので、ご賛同頂ける柔道部OBの方々、まずは志木会事務局までご連絡下さい。

今後とも、我が柔道部への暖かいご声援を宜しくお願い致します。

## 文化部会NOW 第6回

天文部前部長 樋口聡

天文部は2001年に自然観察部の解体（生物部と天文部）というかたちで創部されました。以前には天文研究会があったのでゼロからではなく、機材なども引き継いでスタートすることができました。

創部から3年間は私が部長を引き継ぐことになり、現在は沢田教諭が部長をなさっています。この6年間、生徒の活動に関ってきましたが、主な活動としては学校の観察会、収穫祭展示、長期休暇中の観測合宿、それと何故か農作業も行っています。しかしながら、ほとんどの部員は他の部と兼部しており、なかなか予定が合わず、創部当初は活動が断続的になりがちでした。3年生を中心とした部員構成だったこともあり、引継ぎがうまくいかず、2004年には自然崩壊寸前の状態にまで陥りましたが、昨年卒業した3年生が部の再生を図ってくれたおかげで何とか息を吹き返しました。再生の詳細を、特に収穫祭展示のことを中心に『樺』第14号（2006年3月発行）に当時の3年生たちが記録しています。『樺』をご覧になりたい方は志木会事務局までご連絡下さい。

学校での観測は、理科棟3階の天体観測室から屋上へ天体望遠鏡などの機材を運び行きます。望遠鏡を操作するのは初めての生徒が多いので、ここで望遠鏡の使用法を理解してもらっています。実際には、学校の周辺は明るく、あまり暗い星を見ることはできませんので、主に月や惑星を中心に観察しています。昨年はデジタルカメラでの撮影を試みました。私自身もはじめてでしたので生徒と一緒に楽しみました。

収穫祭には活動がうまくいっている年に参加しています。昨年は発光ダイオード（LED）を使ってプラネタリウムを製作しました。厚さ3mmのベニヤ板から底面が約2m弱の六角錐型のドームを2つ作り、ドーム内に白、橙、赤、青の合わせて約300個ほどのLEDで31の星座を配置し、夏の夜空、冬の夜空をそれぞれ再現しました。ドームの裏側は、まるで昔のB級映画の電脳人間のように複雑怪奇な配線がなされ、この製作に取り組んだ夏休みは電子工作ばかりしていました。

昨年度は夏休みに秩父、冬休みに伊豆へ観測合宿を行いました。どちらも天気にも恵まれ、学校では見ることのできない星々を観察することができました。ここでもデジカメを使って星団や銀河の撮影を試みましたが、あまり上手にいきませんでした。しかし何といても満天の星空の下でレジャーシートを敷き仰向けになって天の川を見ながら語り合う（ちょっと大袈裟か？）のが一番楽しかったようです。

この他に、現在の農地ができてから0.5アールほどを使わせてもらい、畑仕事もしています。これまでに大根、胡瓜、茄子、トマトを作りました。

今年は、昨年の3年生がめでたく全員卒業しましたので、4月当初は部員が1人という危機的状況でしたが、どうにか新入生を獲得することができ、5月下旬現在の部員は4人です。活動もどうにか途絶えることなく継続できています。収穫祭に向け、少しずつではありますがプラネタリウム改造版をつくらうとしています。

## 志木高 H18年度クラブ成績

### 運動部

1	硬式野球部	選手権3回戦 秋季県大会 ベスト16
2	競走部	全国高校駅伝埼玉県大会19位 2'21'41 志木高新記録
3	蹴球部	県大会新人戦ベスト8 関東大会予選ベスト8 全国大会予選準々決勝：11月3日
4	庭球部	県大会 新人戦 シングルス6名 ダブルス4ペア出場 団体戦11月5日～
5	端艇部	国体少年男子埼玉選抜 クオードルブルに東海林裕太君出場
6	柔道部	西部地区大会新人戦 団体ベスト8
7	ホッケー部	国体関東予選 埼玉選抜 藤井資祐君優勝
8	サッカー部	インターハイ県大会出場
9	バスケット部	インターハイ県予選 ベスト4
10	弓術部	インターハイ県予選 ベスト4（3年連続） 西部地区大会個人戦 青山君 ベスト8
11	剣道部	インターハイ県予選 個人戦 宮野君 ベスト32 私学大会 ベスト8
12	スキー部	2006年1月インターハイ予選 飯島頌大君 SL5位 GS10位 志村匠君 SL7位 関東大会出場
13	ソフトテニス部	県大会新人戦出場
14	軟式野球部	県大会準優勝 秋季大会ベスト4

### 文化部

1	英語部	Inter High School Speech Contest 寺田賢悟君参加 Inter High School Debating Contest 寺田賢悟君早大学院チームに参加 6位入賞
2	囲碁将棋部	県高校将棋王位戦A級 藤野嵩之君優勝

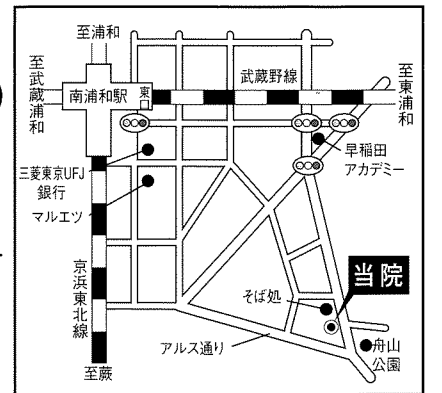
### 広告

志木高49年卒（24期）  
篠崎 智文

JR南浦和駅東口徒歩6分 土曜も診療  
Shinozaki 脳神経外科・放射線科・産婦人科  
Clinic しのざき 脳神経外科 クリニック 産婦人科

市民健康診査 篠崎 智文(24期) 脳ドック  
脳血管の健康相談 生活習慣病の健康相談

母体保護法指定医 女医 篠崎佳代子  
乳がん・マンモグラフィー・子宮がん・妊婦検診  
●診療時間 (月・火・木・金) 午前9時～11時半 (土) 午後2時～5時半 (土) 午後4時半まで  
●休診日 水曜、祝日、日曜  
(048)887-1881  
www.shinozaki-c.com  
駐車場完備  
さいたま市南区南浦和3-28-7



## 枇杷の会

「枇杷の会」句会の楽しさ 10期 馬場紘二

「志木会」の親睦行事として「枇杷の会」という俳句の会があるのをご存知だろうか。「枇杷の会」の句会はずこぶる楽しい。主宰の本井英教諭のご指導を受けて、今のところ年令でいえば40代から60代までの志木高の卒業生が、俳句を学んでいる。せっかくこういうチャンスがあるのだから、一人でも多くの志木会のメンバーが参加なさって、俳句の楽しさに触れてみることをおすすめしたい。なにも難しいことはない。現に私のように、結社に入会したことも、本格的に勉強したこともない、自称「インチキ俳句」でも、大きな顔をして参加しているのだ。どんな俳句が誕生しているかは、「慶應志木会」のホームページで「枇杷の会」掲示板をご覧ください。

3か月に一度、志木高で開かれていることは知っていたのだが、それまで尻込みしていた私は、第6回2004年10月23日の小江戸川越吟行から参加させてもらうようになった。その後、小石川後樂園、神代植物公園、浜離宮の吟行に加わった。毎回吟行場所で、1時間から1時間半ほどはぼほり出されて、一人で自然と対峙する事になる。一人で見て、感じて、みずからの心の中に入り込み、言葉をかき、句をつくる。その静かな時間は、日頃の生活にはない、非日常の独特の体験である。

本井英教諭は、高浜虚子の「花鳥諷詠」を信奉している。俳句は、春夏秋冬の現象を詠って、それによって作者の情懷を述べる、日本の風土が生んだ文芸である、という。言い換えれば、俳句は季節が生きていないと、文芸として立たない。アイデンティティーとしての季節感。俳句を通して、そうした季節感に親しむことが、日本に生きる私たちの人生をどれだけ豊かにするだろうか。

俳号善兵衛、湯浅善衛さん(31期)が名幹事で、吟行のたびにきちんと下見をして、句会に適当な場所を選んでくれている。小江戸川越の江戸時代創業のうなぎ屋「小川菊」の二階で新潟県中越地震に遭遇したのを始め、神代植物公園そばのお蕎麦屋「湧水」、浜離宮から水上バスで行った浅草のてんぷら屋「大黒屋別館」、句会後の一杯がこれまた魅力で、それぞれのお店がその時の俳句と結びついて、良い思い出になっている。

「枇杷の会」の句会は、書生の集まりだった正岡子規時代以来の「連座」の伝統を引き、民主的で合理的なものだ。座中の先輩後輩、経験の有無に関係なく、同じ数の俳句を投げ、同じように清記をし、同じ数だけ選句をする。最後に披露があって、本井英教諭の評をいただく。本井教諭は、俳句は「努力しなきゃいけない」とおっしゃる。無駄があってもいいから、あざとくない句を、愚直に、素直に、つくっていくこと。積み重ねることで、開けてくるものがあるはずだ、と。その言葉を信じて、「枇杷の会」に参加し続けていきたいと思っている。



## 第1回 霞ヶ関CC V.S. 相模CC KEIO野火止会ゴルフ対抗戦

平成18年9月5日、霞ヶ関CC・相模CCの志木高OB同士による第1回対抗戦が行われました。当日は高校時代のよき思い出の中、珍プレー・好プレー続出で楽しい一日を過ごしました。なお勝負は偶然にもAll Even!

夕方から川越の料亭にて懇親会を開き、更に楽しい思い出話。各賞品にはペンマーク入り和菓子が配られ、全くのKEIO Dayでした。高橋・宮田両会長より「このような同好会のな会が慶應志木会内にはある。これからも、このような会がこれからもっと広がる事を望みたい」との談話。志木会の皆様にご報告いたします。



霞ヶ関CC：高橋 公郎(会長)(4期) 小泉 駿一(8期) 相模CC：宮田 勝(会長)(5期) 鈴木 俊雄(8期)  
 近藤 弘(10期) 立原 雅夫(17期) 小松崎高雄(11期) 渡辺 佳英(17期)  
 小谷野和博(19期) 山崎 嘉正(26期) 鈴木 宣雄(18期)

(幹事 立原・鈴木 記)

## メールマガジン・ウェブサイトのご案内

慶應志木会では、メールアドレスを登録されている会員の皆様へ、月一回メールマガジンをお届けしています。発行は毎月第三金曜日です。イベント情報や慶應志木会からのお知らせが主な内容ですが、会員の皆様からの投稿も大歓迎です。また、ウェブサイト：<http://www.keio-shikikai.jp/>では、イベントの詳細な情報、イベント報告の他、訃報などの緊急のお知らせも掲載しております。

同窓会、クラブOB会 etc... タイムリーな情報発信源として、ウェブサイトとメールマガジンをどうぞご活用ください！ホームページの掲載希望は、ウェブサイトより連絡をしてください。メールマガジンが届いていないという方は、

志木会ウェブサイト (<http://www.keio-shikikai.jp/mm/>)  
 からメールアドレスを登録できます。みなさん必ずご登録を!!

## 慶應義塾志木高校・志木会行事日程

	慶應義塾志木高校		志木会			
	2006年度		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
4月	4/6	入学式	4/17 枇杷の会	4/1 枇杷の会 (小石川後樂園)	4/15(土) 三高句会 4/16(日) 麻雀大会	麻雀大会
5月	5/1・5/2	クラスマッチ	5/21 総会幹事会 (港区立商工会館)	5/26 総会幹事会 (港区立商工会館)	5/18(木) 総会幹事会 (港区立商工会館)	幹事総会 枇杷の会
	5/22~5/24	1年研修旅行(箱根)				
6月	6/26~6/30	第一回試験	6/13 サッカー大会 会報発行	6/5 ゴルフコンペ 6/15 会報発行	6/3(土) ゴルフ大会 富士CC	会報発行
7月	7/13	第100回 志木演説会	7/10 枇杷の会	7/2 五高ゴルフ会 7/9 枇杷の会 (神代植物園)	7/8(土) 枇杷の会 長谷寺~鎌倉文学館 7/15(土) 五高ゴルフ会	
	7/18~	夏期休暇				
8月		夏期休暇	8/21 麻雀大会	8/6 運動会(志木高)		枇杷の会
9月	~9/3	夏期休暇	9/25 歩こう会 (川越)	9/3 歩こう会(谷根千) 9/11 麻雀大会	9/20(水) 幹事会 9/30(土) 歩こう会 市川・矢切周辺遺跡巡り	歩こう会 青地野山めぐり
	9/28	運動会				
10月	10/9~10/13	3年見学旅行(北海道)	10/23 枇杷の会(川越)	10/22 枇杷の会 (三溪園)	10/14(土) 枇杷の会 10/20(金) 会報発行 10/28(土)・29(日) 収穫祭 ホームカミングデー(31期)	収穫祭 ホームカミングデー(32期)
	10/10~10/13	2年研修旅行(南三陸)	10/30・31(収穫祭) ジュニア志木会	10/29・30 収穫祭		
	10/28・10/29	収穫祭				
11月	11/5	学校説明会	11/17 幹事会	11/16 ゴルフコンペ	11/16(木) ゴルフ大会 富里倶楽部	11/24(土) 志木会大会 (ホテルオークラ)
	11/13~11/17	第二回試験	11/24 教職員懇親会		11/26(日) 麻雀大会	枇杷の会
12月	12/6	マラソン大会 (於:彩湖周遊道路)				
	12/15	第101回 志木演説会				
	12/18~	冬期休暇				
1月	~1/8	冬期休暇	1/29 枇杷の会	1/14 枇杷の会 (浜離宮恩師公園&浅草)		
		自己推薦入試				
		第三回試験(3年)				
2月		一般入試	2/24 幹事新年会 (万世七福神)	2/24 幹事新年会 (万世ティアラ)	幹事新年会 2/17(土) 枇杷の会	幹事新年会 枇杷の会
		第三回試験(1・2年)				
3月	3/24	卒業式	3/13 麻雀大会 3/24 卒業式 卒業40周年(15期生)	3/24 卒業式 卒業40周年(16期生) 3/25 枇杷の会	3/24(土) 卒業式 卒業40周年(17期生)	卒業式 卒業40周年(18期生)

日付が入っていない行事は、日程を調整中です。

## 志木高教職員の動向

<2005年度 定年退職教諭>

龍田正浩君(在職:1966.4.1~2006.3.31)  
 渡部真也君(在職:1963.4.1~2006.3.31)  
 本井 英君(在職:1970.4.1~2006.3.31)

<訃報>

梅地 宏君(元教諭:2006.5.18 逝去)

<2006年度 新任教諭>

池田卓也君  
 川原行人君  
 鬼頭七美君  
 鈴木千花君

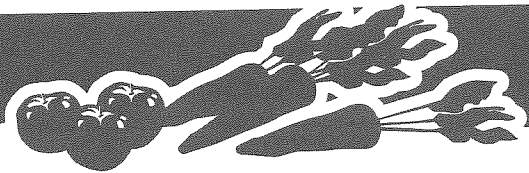
<2006年度 人事異動>

●校長  
 井田 良君(2004.10.1~2006.9.30)  
 下村 裕君(2006.10.1~)  
 ●事務長  
 金子秀敏君(2002.11.1~2006.5.31)  
 杉本正明君(2006.6.1~)(25期)

## 特選塾員となった方々

5期:坂野泰臣君  
 (2005年5月27日授与)  
 30期:加藤弘之君  
 (2006年2月1日授与)  
 33期:佐野昭昭君  
 (2006年2月1日授与)  
 20期:市原健一君  
 (2006年7月1日授与)

## 収穫祭のお知らせ



我が母校志木高では今年も収穫祭の季節になりました。現役生から志木会会員へのメッセージが届いておりますので、掲載させていただきます。皆様お誘い合わせの上、10月の28・29日は志木高へ参りましょう。

### 収穫祭実行委員会よりお知らせ

今年我々の掲げる収穫祭のテーマは「younite」です。

「younite」というのは「you(あなた=お客様)」と「unite(一体になる)」の造語です。“志木高生が一つとなって収穫祭をより良い物としよう”“来場して下さったお客様と一体になり、収穫祭を盛り上げていこう”という意思を込めました。

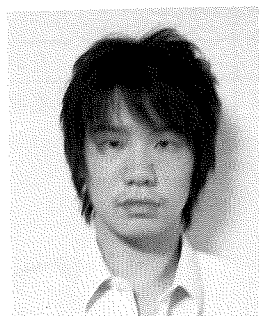
また、昨年の暮から既に活動を始め、収穫祭をより良くするための新しい企画を考案しております。特に、「門パート」では前年度よりインパクトのある門にすること、「展示パート」では我が志木高をより知っていただけますよう、様々な展示を出し、志木高生同士だけでなく、他校や地元の方々、さらには保護者や志木会会員の方々にも楽しんでいただけるものにしていくことを目指しております。その為にも、伝統ある収穫祭に我々なりの1ページを加えられるよう、実行委員が先頭となって努力していく所存で御座います。

本年度は下記の通り、収穫祭を催しますので、志木会会員の皆様におかれましては、お誘い合わせの上是非ともご来場いただきたく、宜敷御願ひ致します。

記

10月28日(土)・10月29日(日)

※駐車場は御座いませぬので、公共機関をご利用下さい。



慶應義塾志木高等学校  
生徒会収穫祭実行委員会  
委員長 山岸 卓

## 志木高卒業25周年ホームカミングパーティのお知らせ

本年度収穫祭に於いて、志木高卒業25周年ホームカミングパーティが開催されます。此は卒業25周年の会員の方々(31期)を中心に、講演会と懇談会を行うもので、今回は衆議院議員/議院運営委員長の逢沢一郎君(23期)を招いて講演会が開かれます。

講演会には31期はもとより、収穫祭見学を兼ねて各期の方々のご出席をお願い申し上げます。尚、参加に際し特に申込み等は必要ございませんので皆様奮ってご参加下さい。

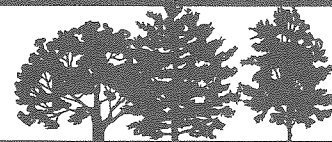
場 所：10月29日(日) 11:00~14:00 於 志木高会議室(3階)  
対 象：卒業25年(31期)の方々を中心に志木会全会員の皆様  
演 者：衆議院議員/議院運営委員長 逢沢一郎君(23期)  
予 定：講演会 11:00~12:00  
懇親会 12:30~14:00

質問等は志木会事務局へどうぞ。

E-Mail : info@keio-shikikai.jp

TEL : 048-471-1959(直) / FAX : 048-471-1974

## 平成17年度志木の森 —活動報告



志木高の名物行事「志木の森ツアー」は2006年で11年目に入り、最初の年に売げ山だった小高い山に植樹された志木の森「里山」も、本格的な雑木林の姿へ変わりつつあります。今回は、志木会会報で志木の森の記事を書く機会をいただきましたので、報告をさせていただきます。

2005年夏のツアーは8月23日から4日間で行われ、参加者は38名でした。

### 一. 森のセミナー

春のツアーと同じく、松尾初さん(愛知県自然観察指導員連絡協議会理事)を講師にお招きしました。今回は主に森の生態、間伐、(プロット調査に関係して)胸高直径の測定方法、かぶれる植物や針を持つ植物への注意などの講義でした。志木高生の多くは針を持つ植物であるカラスザンショウにも興味を持ち、中でも強烈な印象を与えられたのは「エビフリヤー」で、リスがかじった松毬が海老フライに似ていることが由来です。関西の訛で志木高の生徒には新鮮に聞こえたかもしれません。

### 二. プロット調査

一昨年は根元直径で測定していましたが、胸高直径の方が誤差が少ないため、前回からプロット調査における測定に加えられました。胸高直径とは基準面より垂直方向に正の方向に120cmのところの直径のことですが、実際の測定ではノギスで測定が容易な部分を測りました。テープによる管理を離れるため、それぞれの木々に名札をつけたため、次回からのプロット調査はより容易に進められると感じます。

### 三. 里山での作業

里山作業の2日目はプロット調査以外の者が樹木の枝打ちを行い、3日目は台風のため作業ができず、代わりに林業を経営されている吉田正木さんに日本の林業と世界との関わりについて分かりやすく説明していただきました。木造家屋の良さや、その反面木を乱用することの影響、さらに森林保全についての説明は特に印象に残ったと思われます。

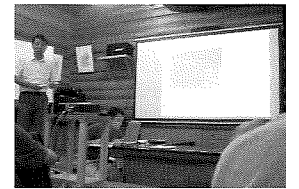
尚、今回のツアーにおいて深山での作業はありませんでした。これは台風の雨で地盤が緩んでいて、傾斜の大きい深山での作業は危険であるということと、今回深山では間伐や枝打ちを行う必要はほとんどなかったためです。

### 四. レクリエーション

今年度の夏の志木の森ツアーでは、台風の影響により、例年実施されていたレクリエーション(主なものに、カヌー、サイクリング、バウムクーヘン作り、熊野古道散策、魚釣り)は2日間の両午後には行えないと判断し、2日目は伊勢神宮に、3日目は大紀町に隣接する宮川村の奥伊勢フォレストピアに赴き、それぞれをレクリエーションに代えました。

### 五. 最後に

志木の森は普段志木高生が志木高内の森では体験できないような素晴らしさを持っているように感じます。志木の森の魅力に加え、日本と世界の森林の現状を自らなりに考えられるためにも、志木の森ツアーに参加してほしいと考えています。



慶應義塾志木高等学校生徒会  
慶應志木の森運営委員会  
平成17年度委員長 尾形正泰

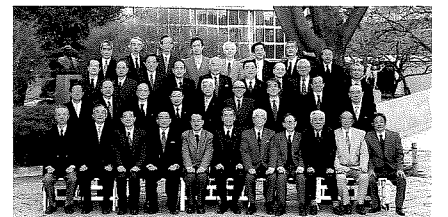
## 卒業40周年招待の御報告

16期生(昭和41年=1966年卒)は本年3月卒業40周年を迎えました。これを記念して志木高等学校井田校長より卒業式にご招待を頂きました。

3月24日まだ肌寒さの残る校内は寒桜が咲き始め、250名の卒業生を祝っているようでした。平日ながら多田前会長、中村副会長も参列、16期生は34名が集合しました。なかでもPTA会長としてご子息の卒業式に立ち会われた同期の川脇信久君ご夫妻の感激はさぞやと思われました。

塾長のお言葉など厳粛な式典の中で、16期生代表として阪東宗文君が井田校長より卒業40周年記念証を拝受。その後教諭の皆様との懇親会、記念撮影のあと志木市内のベルセゾンで2次会を開きました。さらに3次会4次会へと繰り出した組も有ったとのこと。40年のおつき合いの重みを感じ、紅顔の卒業生にあやかって今後の健康維持を誓い合ったことでした。

鹿野元章 記

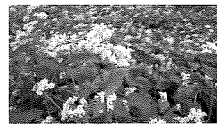


# 同期会 & OB会だより

**7期** 志木会 7期同期会は暫く開催されなかった。主な理由は主幹事の渡辺忠彦君が長期療養を要し、昨年3月に逝去されたのが原因であった。また昨年8月には三原佑介君が相次いで亡くなった。お二人とも痛が原因であった。ご冥福を祈る限りである。残された熊崎君、鈴木君、渡辺君と小生は来年(2007年)は志木高卒業50周年に当たるので、盛大に同期会を開催しようと話し合っている。開催は来年3月になる予定である。



安曇野の秋



蕎麦の花

同期の諸君もほほりタイヤしたと思われる。いまだ頑張っているのは小池君、溝呂木君と後、自営の諸君だと思ふ。小生は今年5月に志木会の会長を引退し、16期の鹿野君に後を引き継ぎ、同時に6月に会社もリタイヤした。念願だった主たる住所を長野県安曇野市に移し、山登り、スキー、自転車、昆虫採集を楽しむ予定である。 多田毅 記

**9期** 梅雨空の6月17日(土)13時より、9期の年次例会を開催、物故者を除く所在確認登録メンバー83名のうち、34名が参加。場所は従来の三田山上のファカルティクラブより趣向を替え、会員の小池修治君の経営する料亭(大岡山駅前)「利休」に参集、初出席者数名を交え大いに盛り上がりました。今回は久しぶりに三人の教諭、建部教諭、高山教諭、三田教諭にも御出席賜り、相変わらずのお話振りにと一層楽しい会となり、時間の経つのを忘れるほどの盛況となりました。世話人として大変嬉しく思いました。

いつもは病氣と年金の話題が結構あるのですが、今回は昔話が主体で参加者全員高校生に戻った気分でした。再来年塾は150周年を迎えますが、我々高三のときは百年祭記念取極祭だったな-という話題もありました。

出席者全員から来年もここでやろうということで、(2007年6月16日)再会を誓い各自家路につきました。 五老輝彦 記

**10期** 復刊『慶應義塾志木高新聞』を読んで

昨年の今頃、40数年も昔私が志木高に在学当時と全く同じタイトル、題字で復刊「慶應義塾志木高新聞」第一号が送られて参りました。懐かしさのあまり貪る様に隅から隅まで拝見したものです。

既に跡形も無い旧志木高校本部建物の一室で先輩の猪尾さん、五老さんそして同期では馬場さん荒木さん達と一緒に無我夢中で「慶應義塾志木高新聞」の第一号を発刊した当時の雰囲気突然蘇ってまいりました。休刊していた由ですが、どうかその後も継続して発刊されます事をお願いいたします。65歳の現在にいたるまでの自分の全人生を出版活動で継続しております原点がこの志木高新聞部室でありました事を付記させていただきます。 松林三郎 記

《ピッコロホテル オペラ軽井沢》へのお誘い

私は10期卒業生でございます。4年前、長年勤めていた会社を定年でリタイヤいたし、なんとあろうことか、無謀にも軽井沢でプチホテルを開業してしまいました。当初はいろいろ大変でしたが、やっとなんとか様になってきました。しかも懐かしい志木高の皆様にととき訪れてきていただいております。もしこのような新しい人生を選択しなければもしかして2度とお会いできないような方々とお目にかかれることが出来、ああ、この仕事を始めてよかったな、と思う日々であります。

一番多感な高校時代を共に過ごした大事な友人たちとの出会いは、そろそろ初老?と言われる歳になった私にとって得がたい大切なひとときであります。どうか、同級生はもとより諸先輩方や後輩方のお出掛けを心よりお待ちしております。

軽井沢はご承知のとおり避暑地としても第一級な土地ですが、秋の

紅葉、春の若葉、そしてもしかして一番軽井沢らしい初冬から冬にかけてのたたずまいはわたくしにとって離れられない生活になっております。また、音楽にスポーツにすばらしい環境があります。オペラ軽井沢では名前のおり音楽をモチーフとした雰囲気を整え、グランドピアノやその他の楽器をそろえ、ピアノの練習会や合唱の練習などにも利用でき、またスポーツは隣のテニスコートでテニスを楽しんだり、車で15~20分以内に10箇所ぐらいのゴルフ場にも恵まれ、またフットサル、や冬はスキー、アイスホッケー、そしてあの有名になったカーリング、などなど、さまざま楽しみ方ができます。

一口で申しますと軽井沢には「すばらしい文化」があります。どうぞ皆様、ぜひ楽しみに御出下さい。同期会や、ゴルフのコンペ、はたまたご夫婦の記念日に、と、いろいろ活用いただければ光栄でございます。 植泉新一 記

**11期** 旧ユーゴスラヴィアから独立した6カ国の一つ、マケドニアのホテルの経営(マーケティング)アドバイザーとして昨年11月からほぼ3ヶ月に一回、それぞれ一週間ほどの出張ベースで首都スコピエから車で3時間ほどのリゾートホテルを訪問しています。乗り継ぎの便が悪く、現地地に到着するまで二日かかります。現地での仕事は楽しいのですがエコノミークラスでの往復が老体には堪えます。 内藤晋 記 (写真はオーナーたちとホテルで、2006/08)



【代表幹事 馬淵祥宏 D組幹事(細谷 服部(光) 横山) 担当幹事:川瀬】

一年間A~E組輪番で幹事を引受け年間行事を楽しんでいる遊志会。平成十七年行事のひとつを紹介いたします。

それは「遊志会ミュージックフェスティバル」と銘打って東京三田倶楽部で開催された。その案内と感想を披露しますので、その雰囲気を感じ取っていただきたい。

「青春を豊かに送ったものは一生しあわせである」という言葉があります。青春を志木高のノホホンとも言ふべき環境で過ごし、なかなか音楽という豊かな情操に浸った仲間が、老来いよいよその恩恵に浴しています。まだまだ残り多き吾らが人生、彼らの音楽三昧の余恵にあずかる至福のひと時を待ちましょう。」

- オープンコーラス = 鴻田 木村(昌) 坂本 高木
- フルート奏者 = 田端 ピアノ伴奏 = 田端夫人
- ピアノ演奏 = 池田(信) 馬淵の孫(6才)
- ギター演奏 = 中川(特別会員)
- コーラス = 相澤 鴻田 木村(昌) 坂本 高木 田端 深山
- ハワイアン演奏 = 佐久間 北村 馬淵 望月 伊藤嘉彦(友情出演)
- コリアン演奏 = 川瀬子息 チェンパロ伴奏 = 川瀬子息夫人
- フィナーレ = 応援歌メドレー

以上 感想: 本日はナント51名のご出席、皆さんの熱演、好演は和氣満々のうちにも、なんとと感然然とさせるものでした。お孫さんたちの存在もファミリーードを盛り上げ、スパイスのように効いてきました。ともかくみなさんのおかげで感涙に咽ぶような成功と、独り喜んでいきます。あとは細谷兄や山口兄の写真で再び楽しみたく存じています。皆さんほんとうに有難うございました。

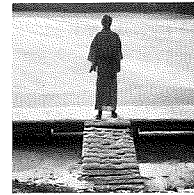
過大な自信に溢れた興行師 担当幹事 川瀬 感想: すばらしい企画でした。お金を払ってもあれだけ豊富なメニューおコンサートは聴くことはできないと思いました。音楽とは音を楽しむ。まさにこの言葉がピッタリのイベントでした。慶應義塾には自稱芸術家の多いこともわかりました。 田端 この催しは、好評につき第2回を計画中です。 馬淵祥宏 記

**13期** 12年間ロサンゼルス、アトランタ、ボストン、デトロイトとアメリカ各地を巡回し、大成功をおさめた岩橋崇至写真展『THE ROCKIES-アラスカからメキシコまで』が今年ついに終結しました。大型作品70点はすべて、ジョージア州ベリ-大学に所蔵していただくことになりました。南部に行くことができましたことになりまして。南部に行くことができましたことになりまして。お立ち寄りください。長年にわたる志木会の皆様、温かくも力強いご支援に深く感謝申し上げます。有難うございました。岩橋崇至 記



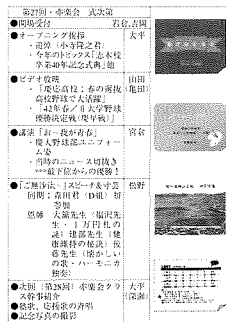
13期の岩名雅記です。昨年志木会メールマガジンで数回に渡ってご

報告させていただきました私の脚本・監督による劇映画「朱霊たち」(104分)が本年2月に完成しました。その間、13期のみならず志木会の皆様にご協力いただきましたこと、この場をお借りして深く御礼申し上げます。幸いにも本作品はこの5月文化庁より平成17年度の新人監督支援助成を受けることが出来ました。また来年2月にはボレロ東中野での上映も決まっております。その折は是非ともご来場いただきたくお願い申し上げます。御礼とお願い迄。 岩名雅記 記 official site: http://www.shureitachi.com/



映画のワンシーンより

**15期** 第27回「亦楽会(15期生)」が、昨年11月12日(土)帝國ホテル・東京三田倶楽部で盛大に開催されました。メインイベントは、40年前、昭和42年の春の六大学野球で、大学野球部が前年、屈辱の最下位から翌年あっぱれの逆転優勝を導いたが同期のヒーローの宮倉君に登場願って、あの感動の青春時代を再現しました。当時の新聞、資料、ビデオを見ながら、優勝までの秘話に触れて、すっかり当時に戻り「あの時はすごかった!あの時は燃えた!」と盛り上がり、会場は熱気と幸せな気分になりました。また、亦楽会に初参加した、森田君(D組)からライフワークに関する貴重な話が披露され、その見識に参加者一同感銘を受けました。教諭方もお元気で、大館教諭からは、1万円札はなぜ福沢先生であるか?の私的解釈の講座を、建部教諭からは、何はななくとも健康第一、早めの検査第一!と健康講座(漫談)を受けました。最後に後藤教諭が自前のブルースハーフで懐かしのメロデーを演奏するなど多彩な芸を披露し喝采を浴びました。志木高を卒業して40年、自由闊達な校風に触れた楽しく愉快な仲間の集いででした。 大平善彦 記



**20期** 昨年9月24、25日に同期の市原君が市長を勤める、つくば市で20期の同期会を開催しました。24日昼すぎからつくば市にある「筑波実験植物園」と「筑波宇宙センター」の見学を行い、そのあとオーケラフロンティアホテルつくばで、28名の方が参加して懇親会が行われ、昔を思い出しながら楽しい時間をすごしました。卒業以来という参加者も居て2次会、3次会と夜中まで盛り上がりおりました。25日は台風が接近しておりましたが有志によるゴルフコンペが行われました。今年の3月2日には毎年恒例の「20期同期新年会」を有楽町の「外国人記者クラブ」で開催しました。今年は交換留学生としてアメリカから志木高に来ていて、最近では映画監督として活躍しているJohn T Junkermanも参加し、38名が集まり、昔話に花を咲かせていました。毎度の事ながら外見は変わりましたがすぐに気持ちは昔に戻り、旧校舎の話、寮の話など多くのエピソードが語られていました。John T Junkermanが監督した「日本国憲法」は第79回『キネマ旬報』の「文化映画」部門で1位を獲得しました。同期会の写真は志木会の掲示板をご覧ください。 金子博志 記

**22期** さる6月10日、志木高校22期同窓会「二八会」を開催致しました。当日は44名の参加者が懐かしい顔ぶれを揃えてくれ、新保堯司教諭のご出席もあり、大変盛大な楽しい会を行いました。4年ぶりの開催でしたが、悲しい事に何名かの仲間が亡くなり、皆でご冥福をお祈りしました。今年には連合三田会の幹事年であり、また来年は第5回志木会大会が開催されるので、その時にまた集まる事を約束してお聞きとなりました。 葛葉誠 記



**26期** 26期では今年4月、同期会「26会」(会長中川龍士君)を開催し、20名以上の同期が、いつもの会場同期の清水一君の経営する本格紅茶専門店「青山ティーファクトリー」に参集しました。(本来紅茶専門店ですが同期会のと

きは居酒屋化します。) またこの「青山ティーファクトリー」には同期会のおきに限らず誰かしの同期が出現いたします。本会報を見た同期の方は「青山ティーファクトリー」(南青山2-12-5、03-3408-8939、http://www.a-teafactory.com/)にご一報の上お立ち寄りされたら如何でしょうか。なお、気になる同期の連絡先や同期会の予定などお知りになりたい方は下記までメールでお問い合わせください。(現在同期約100名のメルアドを把握しています) 同期会事務局 山田純男 (yamada@wise-cir.co.jp) 記

**27期** こここのところ同期会はすっかりご無沙汰である。去る3月25日(土)に開催された塾同期の大同窓会のスナップがある。すっかりおじさんやねー!!!分かりますか?一枚目(左)は、「健三郎、ゴア(伊藤)、青戸と金森」、二枚目(右)は「岩崎、榎本、健三郎と金森」。一見、「こいつどのおやじ??」と思うのですが、なんと同級生!!!! とっても懐かしかったですね!!! その後、高橋健三郎の赴任話が確定し、急速、6月10日(日)、ごく内輪で社行会。(奥から)「大山、澤田、健三郎、大場」である。同期のメーリングリストを公開中です。現在30人が登録。ぜひ登録してください。 連絡は、金森 (satoru@kanamori.com) までお願いします。 金森悟 記



**48期** 48期(1998年 志木高校卒業/2002年大学学部代です)の皆様お元気ですか? 学部卒業で社会に出た方は社会人5年目。生活も落ち着いて来たり、又、身の回りには結婚する人も出始めたり、(かくいう私も昨年結婚しましたが)転職したり、皆様いろいろなことと思ひます。 昨今話題のソーシャルネットワークサービス mixiにて同期の仲間との再会が続いています。mixiで再会した、佐藤善毅君と、同期会をやりたいという話で盛り上がりまして。ちょうど来年は志木会の大会も開催されることから、これを期に、定期的に48期で集まりをもていければと思います。まず、一回目として今年末か、来年春頃をめどに一回同期会を開催したいと思っています。同期会の開催について、メールでお知らせをしたいと思ひます。しかしながら、残念なことに、志木会にメールアドレスの登録のある人は全体の1割も満たない状況です。同期会などの連絡はメールで行っていきたく考えていますので、是非登録をお願いします。志木会に登録するのはちょっとという人は私に直接連絡をもらえれば、同期会の連絡だけ届くようになります。 期幹事 岩崎 弾 (kanji\_48@keio-shikikai.jp) 又は、http://mixi.jp/show\_friend.pl?id=87677 まで。 岩崎弾 記

**56期** 56期生が志木高を卒業し、7ヶ月が経過しました。我々の主な生活の場であった東上線の志木駅周辺の町並みは、在校時から変化を遂げていましたが、私がふと志木に帰ってみると、駅がさらなる進化を遂げていたり、ららぽーとが完全に姿を消していたりと、我々の生活の場が段々と新たな色に塗られていくことに、母校への希望と若干の寂しさを感じるのです。 志木の町がそうであったように、学校生活においても56期生の在籍時はカリキュラムの改定があり、運動会の復活があり、校内施設のリニューアル、応援指導部の体部、それまでの志木高を支えられた名物教諭の引退...など、連綿と続く志木高の歴史が新たな時代に向かっていく過渡期であったように思ひます。 そんな変化の中で、我々も志木高の歴史に足跡を残すことができたかと思うと、いささか不安がつきまとうところがあります。が、偉大な先輩方に負けず劣らず、これからの日々生活に精進してまいりますと共に、我々も志木会の一員として、母校と在校生を支えて参りたいと思ひ所存であります。 最後になりましたが、我々56期生の卒業式にご参加頂いた皆様には、56期を代表致しまして篤く御礼申し上げます。 大久保匠馬 記

平成17年慶應志木会 収支報告書 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

単位：円

収 入		支 出	
適 用	金 額	適 用	金 額
前 期 繰 越 金	16,499,199	会 報 費	2,604,000
維 持 会 費	2,792,000	会 議 費	481,230
新 入 会 費	1,660,000	式 典 費	150,000
名 簿 収 入	14,700	交 際 費	177,095
物 販 収 入	240,100	通 信 費	53,800
運 動 会 費	16,000	振 込 費 用	14,265
役 員 会 費	67,000	残 高 証 明 書 発 行 手 数 料	2,400
幹 事 会 費	150,000	事 務 費	34,889
寄 付 金	550,000	パ ソ ヲ ン 関 連 費	724,263
預 金 利 息	105	収 穫 祭 寄 付	300,000
		運 動 会 費 用	195,130
		歩 行 会 費	14,306
収 入 小 計	5,489,905	卒 業 式 寄 付	300,000
		卒 業 生 記 念 品	270,000
		換 金 手 数 料	5,000
		会 費 返 金	32,000
		支 出 小 計	5,358,378
		次 期 繰 越 金	16,630,726
合 計	21,989,104	合 計	21,989,104

預金残高明細 (3月末現在)

(銀行)	(種別)	(適用)	(管理)	(残高金額)
りそな	普通	一般	増山	8,088,913
埼玉りそな	普通	入会金	増山	3,420,018
郵便局	振替	会費口	増山	2,790,800
郵便局	振替	名簿代	増山	41,000
三井住友	普通	小口	金森	822,074
埼玉りそな	普通	小口	竹内	617,917
りそな	普通	寄付	増山	850,004
合計				16,630,726

監査報告

慶應志木会会則第18条に基づき、平成17年度(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の会計監査を実施いたしました。

その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

監事 宮田 勝 平成18年5月9日  
 監事 大道 賢二  
 監事 鹿野 元章

慶應志木会会則改正のご説明

志木会会則において、毎年5月開催の幹事会の表現方法に付きまして、「総会幹事会」または「総会」の2とおりの呼称をしておりました。

「総会幹事会」と「総会」とは同一の意味でありまして、この改正により「幹事総会」と表現する事が第4回総会幹事会(現幹事総会)にて承認されました。

なお、付則第3条3「本会則の変更は平成18年5月18日の第4回総会幹事会の承認を得て、その効力を発生する。」を加える事と致します。

志木会会則全文は、ウェブサイト (<http://www.keio-shikikai.jp/>) に掲載してありますので、あわせてこちらもご参照ください。

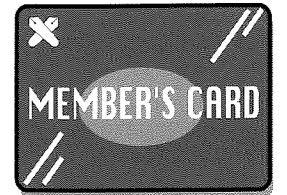
「志木会パス」発行について

現在、志木会では、「志木会パス」というものを計画しています。

志木会パスとは、志木会の会費をお支払いいただき、会の運営にご協力をお願いした方に対して発行するパスです。このパスを利用することで、いろいろな特典を得られるようにすることを計画しております。

特典の提供には、是非皆様のお力添えを頂きたいと思っております。お力添えをいただいた会員の方へ対しては、本会報や、志木会のメールマガジン・ウェブサイトなどに広告スペースを提供させて頂こうと思っております。また、このパスを通じて、志木会会員同士の交流の機会が増えればと思っております。

志木会パスの進展状況につきましては、随時、志木会ウェブサイトやメールマガジンにてご案内をしていきます。また、ご意見等ございましたら、下記志木会事務局までお問い合わせください。



登録情報の確認のお願い

現在、志木会事務局では、皆様の登録情報を再確認する作業を行っております。特に、皆様の所属部活動について確認を行っております。近年、部活動の同窓会を新設したいという動きがいくつかの部活動ででており、志木会への協力要請も来ております。しかしながら、その動きを十分にバックアップできるだけの情報を把握できていないのが実情です。

また、塾員センターと連携し、塾員センターと志木会でそれぞれが管理している皆様の情報に関連づけし、最新の情報へ更新する作業を行っております。

それらの為に、皆様の登録情報をご確認いただき、登録がないもの、間違っているものがありましたら、事務局宛にご連絡をお願い致します。連絡方法は、この会報をお送りした封筒に同封してある宛名用紙にあります。

なお、いただいた情報は、志木会情報管理規定に則り、管理を致します。

広告募集!

慶應志木会では、志木会の活動領域を広げる為、現在、会報・メールマガジン・ウェブサイトに掲載をする広告を募集しています。

広告代金 ウェブサイト トップページ バナー広告 30,000円 (6ヶ月間)  
 サイズ 450×150pixel 1面 (最大5社順次表示)  
 メールマガジン 文字広告 (2～3行程度) 10,000円 (2ヶ月)  
 会 報 サイズにより異なりますのでお問い合わせください。

また、来年の志木会大会でのパンフレットなどへの広告も今後募集して行きますので会員の皆様からのご協力をお待ちしております。ご協力いただけます方は、下記志木会事務局までお問い合わせ下さい。

会報発行遅延のお詫び

本会報は、6月下旬に皆様のお手元へお届けする予定でしたが、諸事情により、発行が大幅の遅延となりました。会報をお楽しみにしていた会員の皆様へ深くお詫び申し上げます。 慶應志木会会報編集担当

連絡先

〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1 慶應義塾志木高等学校内  
 ウェブサイト: <http://www.keio-shikikai.jp/>  
 メール: [info@keio-shikikai.jp](mailto:info@keio-shikikai.jp)  
 Fax: 048-471-1974 / Tel: 048-471-1959

慶應志木会 事務局 竹内様宛



■役員■

**名誉会長** 下村 裕(校長)  
**会長** 鹿野 元章(16期)  
**副会長** 足立 文治(主事)  
 増山治一郎(17期)(会長不在時代行) 財務担当  
 金子 博志(20期) 情報担当  
 中村 弘司(23期) 事業担当★  
 山崎 嘉正(26期)(事務局兼務) 総務担当★  
**監事** 大道 賢二(12期)  
 千葉 宗雄(13期)  
 原田 薫(15期)  
**幹事長** 阪東 宗文(16期)(会長不在時代行)

**副幹事長** 野溝 孝信(16期) 20周年大会実行委員長  
 金子 康雄(22期) 会報担当  
 小川 洋(25期) 事業企画担当★  
**事務局長** 山崎 嘉正(26期)  
**事務局幹事** 山田 純男(26期) 総務担当  
 金森 悟(27期) 財務担当  
 川崎 聡(46期) 会報担当  
 岩崎 弾(48期) 情報担当  
 大久保佐太郎(55期) 総務担当  
**顧問** 櫻井英太郎(1期) 大谷照(1期) 龍野和久(1期) 宮田勝(5期)  
 多田毅(7期) 五老輝彦(9期) 荒木幸生(10期) 品川雅貴(12期)  
 本橋重夫(15期) 西村孝一(17期)

★は20周年大会実行委員長補佐を兼務

幹事

期	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
1	藤井 淳	松本 仙太郎	河邊 勝利						
2	遠山 正	惣谷 司	菅野 金次郎						
3	品川 仁	崎橋 公三郎	伊藤 石成						
4	藤岡 民	高橋 鈴木	林 福太						
5	寺嶋 延	小松 本							
6	真野 信	品川 弘							
7	熊崎 次	前田 克							
8	青木 宏	齋藤 彰							
9	南部 達	齊藤 達							
10	馬場 結	川久 保							
11	鴻田 益	保野 八							
12	太刀川 孝	開八 郎							
13	清水 武	倉山 二							
14	小林 準	藤田 彦							
15	小川 清	工藤 典							
16	須永 泰	宮野 勝							
17	奥村 一	星野 恭							
18	中西 廣	杉野 敏							
19	中 敏	福地 敏							
20	飯島 一	梅澤 由							
21	櫻井 敏	島影 幸							
22	夏目 雅	島田 徹							
23	赤木 均	小池 永							
24	高橋 宣	永望 一							
25	船山 剛	木島 一							
26	山頭 真	布野 浩							
27	大熊 伸	河野 潔							
28	館熊 治	宇賀 健							
29	岸田 男	昌谷 健							
30	田 佳	永田 博							
31	道野 久	中里 中							
32	野素 素	田所 中							
33	山下 裕	三島 重							
34	小玉 孝	小山 一							
35	須佐 文	谷川 康							
36	美 儀	黒川 真							
37	木島 康	江田 安							
38	鍋久 康	徳田 征							
39	知山 和	川 涉							
40	丸上 晴	森 慶							
41	井上 生	渡邊 慶							
42	柏木 徹	林 雅							
43	安 重	中川 憲							
44	原田 一	若林 隆							
45	宮田 真								
46	若松 院								
47	伊集院 弘								
48	小寺 俊								
49	亀山 高								
50	石川 快								
51	高岡 功								
52	石井 朗								
53	毛呂 多								
54	森岡 門								
55	塚本 夢								
56	池端 大								
56	大久保 匠								

■クラブ幹事■

**庭球部** 田中 真介(17期)  
**サッカー部** 中村 直人(38期)  
**バスケット部** 南雲 保秀(23期)

**卓球部** 浅生 潤(23期)  
**バレー部** 進藤 英典(23期)  
**スキー部** 渡辺 一仁(51期)  
**野球部** 小川 光二(17期)

編集後記

如何でしたでしょうか。最後までお読みいただき有り難う御座居ました。又、御協力いただいた方々に深く御礼申し上げます。こうして刊行物となり全国の志木会の、大先輩方の御手元に届くと思うと、恐懼に耐えられません。私は普段、メールマガジンの編輯を行っておりますが、矢張り紙媒体は良い物ですね(メールマガジンについては志木会のウェブサイトか事務局までどうぞ——連絡先は奥付を参照下さい)。

さて、来年は志木会大会が行われます。事務局一同、実行委員長を中心に一層奮励努力致しますので、皆様お誘い合わせの上、是非とも御参加下さいませよう、お願い申し上げます。(さたらう)

慶應志木会会報 2006 ●Vol.26

平成18年10月20日発行  
 編集・発行 慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)  
 〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1  
 発行人 鹿野 元章  
 印刷 (株)精興社  
 ウェブサイト <http://www.keio-shikikai.jp/>  
 メール [info@keio-shikikai.jp](mailto:info@keio-shikikai.jp)